

# 夢中になる。楽しい、面白い気持ちを感じて

作成日2025年1月27日(月)

対象児 4歳児

作成者 進藤早苗

ねらい 保育者や友だちと一緒に協力をしながら、製作をする楽しさや面白さを感じる。



## 振り返り

空き箱、セロテープ等を使って、毎日少しずつ作品展に向けての製作を進めてきました。動物「こあら・ぱんだ・とり」の中から、自分の好きな動物を選び製作をしました。それぞれの動物の特徴もよく捉え、「ここは〇色かな？こうしたいな」「こんなポーズにしたら可愛いと思う」と子どもたちからイメージしている言葉がよく聞かれました。糊やボンドで折り紙を貼り合わせる活動では、「もう休憩しようか？」という保育者の問いかけにも「まだやる」と黙々と紙を貼りあわせていました。子ども達の中で、「ここまでは頑張る」と気持ちをしっかりと持っていたようでした。そんな姿が多くなってきました。また、絵の具を使った活動をした時は、細かい所までじっくりとよく見て、自分達で絵の具の塗れていないところに気付いて塗る姿に感心しました。髪にも、体操服にも、顔にも絵の具がついてしまうくらい夢中で絵の具を塗っていたり、夢中になると、友達との会話もなくなるくらい真剣な表情の子ども達を見ることが出来ました。子ども達から「あー。疲れたけど楽しかった。」「明日は何を作る？」という子ども達からでてきた言葉。次の日の登園、作ることを楽しみにしている言葉を聞いて、私自身も嬉しい気持ちになり、帰りの集まりでそのことを話しました。これからも子ども達と気持ちを通わせながら、楽しんで活動を一緒にしていけるような保育者でいたいと思います。

(思考力の芽生え・豊かな感性と表現・協同性数・数量・図形・文字等へ関心・感覚)

